



2004 年度第 11 号



# やまなみ

## サンフランシスコ日本語補習校 理事会通信

2005 年 3 月 19 日

### 卒業・修了おめでとう／今年度をふり返って

サンフランシスコ日本語補習校理事長 山崎啓二



本日は卒業・修了生 221 名（小学部 127 名、中学部 70 名、高等部 24 名）の新たな旅立ちの日です。卒業・修了生のみなさんにとり、かなりの負担があったのではないのでしょうか。それを跳ね除け、みなさんがその両立を立派に果たし、この日を迎えられることは素晴らしいことだと思います。これまで一

緒に過ごしてきた友達、先生、家族を、そして自分をこれからも大切に、日本人の誇りを持って、明日へと歩んでいきましょう。

さて、私たち 2004 年度理事会も今月末でその任期を終えることとなります。この 1 年間の主な行動としては、安全管理の方策作りや運営細則・選挙細則の策定があげられますが、一番大きな課題は新しい高等部の体制作りでした。保護者・教員への説明会を経て、高等部管理職の採用活動を行い、次年度の準備を進めてきております。しかし、実際の運営はこれからでまだ形を整えたにすぎませんので、柔軟に対応できるように進めていく予定です。

このような当面の課題をこなしていかなければなりません。私たち理事会も中長期的な視点にたった学校運営のテーマ、たとえば、「現在の補習校の状況を踏まえながら、魅力ある補習校の姿とその方策作り」のような点を検討していく必要もあると思います。4 月からの 1 年、新しい理事会で中長期のテーマを含んだ新たな取り組みをお願いしたいと思えます。

また、この 1 年の運営・活動に際して、保護者会・先生方・事務局の方々からたくさんのご支援をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。最後になりますが、各家庭での子供への暖かいサポートを引き続きよろしくお願い致します。教育ということを考えると、家庭での比重が一番高いと思います。現地校と異なり、週 1 日の補習校ではその重要性が高いからです。

### 平成 16 (2004) 年度通常総会開催

3 月 5 日 (土) 午前 9:30 より 10:50 までの間、小学部サンフランシスコ校カフェテリアにおいて、平成 16 年度本校通常総会が開催されました。当日出席者約 60 名に加え、あらかじめ提出されていた委任状総数 437 により、全有権者 900 の過半数を超えたことが確認され、通常総会は成立しました。理事会より、山崎啓二理事長、長岡泰彦第 1 副理事長、千田一貴第 2 副理事長 (学務委員長)、金井田智久監査 (法規委員長)、反田隆財務 (財務委員長)、安俊弘理事 (総務委員長)、佐藤隆志理事、中村ベス理事 (保護者会 SF 校会長補佐)、長谷川清理事 (保護者会代表会長)、早川由浩理事 (順不同) が、学校より堀井重樹学校長が、事務局より青柳伸之事務局長が出席しました。

配布された資料は、①「平成 16 年度 (2004) 通常総会内容」、②「平成 16 年度理事会活動報告」、③「議案『Bylaws 第 14 条の改定について』」、④「2005 年度予算案と 2004 年度実績見込み」、⑤「平成 16 年度学事報告 (年次総会)」、⑥「平成 17 年度理事選挙について」の 6 点です。(総会に欠席された方で資料ご希望の方は学校ホームページの「おしらせ」ページをご覧ください。)

以下に、議事要旨を示します。

#### 理事会活動報告

配布資料②に基づき、山崎理事長より、今年度活動の概観が報告され、その後各委員会別に今年度の活動が報告されました。具体的な内容については、「やまなみ」10 号をご覧ください。

#### 議案「Bylaws 第 14 条改定」

配布資料③に基づき、金井田法規委員長より、理事会の決議によりすでに改定された第 1 条、第 6 条、第 11 条の趣旨が報告されました。

続いて、学校定款第 14 条改定の趣旨説明の後この件に関する質疑応答が行われ、「この改定によれば、理事は選挙で選出するというのが基本的考え方なのか」との質問があり、金井田委員長より、「そのとおりである。今回は推薦者と立候補者の総数が 10 名となり投票にいたらなかった。もし選挙となった場合には、最近制定された選挙細則に基づき各立候補者の背景などがわかるように選挙公報をすることになっている」との回答がありました。

その後採決に移り、改定を原案通り可決・承認しました。

#### 会計報告

配布資料④に基づき、反田財務委員長より、今年度の財務状況が報告されました。全体的な規模が 200 万ドル、収入のうち 20 万ドルは日本政府からの補助金であることが説明されました。また、文部科学省から派遣されている 5 名の派遣教員の人件費は日本政府の負担であり、本校予算の中には含まれていないことが指摘されました。

今年度当初は約 68,000 ドルの赤字が見込まれていましたが、種々の努力、および児童・生徒の減少が予想よりも小さかったことなどにより、赤字幅が 42,000 ドルになったことが報告されました。

今年度は 3 件の寄付があったこと、そのうち、北加日本商工会議所からの 8000 ドルは教育に直接役立てていただきたいという趣旨を尊重し、一般会計に組み入れ教育機器などの購入に充てることで検討中であることが説明されました。

2005 年度は平均約 13% の授業料値上げを決定したことが報告されました。その背景として、過去 3 年間、人件費を据え置き各種設備も更新しないできたが、教育機器や事務局設備の更新などが避けられない状況となっていることが説明されました。

#### 学事報告

配布資料⑤に基づき、堀井学校長より、今年度の学事報告が行われました。学校安全がまず基本であることが指摘されました。習熟度別学習には難しい点が多く、そのため今年度は夏期集中学習期間を利用して課題別学習を実施したことが報告されました。また、今年度より小 1、2 年の 4 校時が実施されたこと、これまで 2 年間、文部科学省研究協力校指定をうけ活動したことが報告されました。そのほか、学校関係の統計、年間行事などが要約され、来年度新体制に移る高等部に関して、派遣教員は側面支援をすることが表明されました。

#### 次年度理事発表

配布資料⑥に基づき、反田選挙委員長代理より、今年度理事選挙の経過と結果が報告され、理事会推薦 10 名が無投票で当選したことが報告されました。

#### 質疑応答

上記報告に関しての質疑応答が行われました。以下にその概要を示します (カッコ内は回答者)。

○小 SF3, 6 年児童保護者: 最近、子供の通う現地校において

偽爆弾騒ぎがあり近隣住民も含めて避難することがあった。総務委員会の行った安全見直しで「懸念される重大な事象の起きる可能性が小さい」と判断されているがだいじょうぶか。また、各校におかれている警備員は信頼性の点で心配がある。(安総務委員長)安全に関わる具体的な事例を教えてください。感謝する。総務委員会の安全に関する検討では、安全に関わる事態を分類しそれぞれの対応を考えた。アメリカの社会制度の中で対応される部分があり、補習校としてどのように何に対応するかについて検討を加えた。その結果、緊急連絡網の重要性を再認識した。これまでは緊急連絡網を作る実際の道具がなかったが今年度データベースシステムの構築を行い、それをもとに緊急連絡網構築を視野に入れるところまで来ている。発生の頻度が低いからといって対応を除外しているわけではないことをご理解いただきたい。警備員に関しては、その信頼性などに関して問題点を認識しており、派遣教員のアドバイスも得ながらより良い対応を検討中である。たとえば、学校職員による警備なども選択肢の中にあり、現在経費の関係なども含めて検討している。

○小 SF4 年児童、中 SF3 年生生徒保護者：今年度理事会は積年の問題に大きな進歩をもたらした。理事会運営が透明化した。また、難しい高等部の存続問題についても存続という大きな決断をしそれに向けて多大な努力があった。この場を借りてお礼を申し上げたい。(拍手)

○小 SJ5 年児童保護者：今年新 1 年生に入学を希望している子供の第 2 次面接を受けることになったが、子供が現地校に通う平日の午後を指定され、遠路 SF 市内の補習校事務局まで出かけるのは負担が大きく柔軟な対応をお願いしたが断られた。また、入学の際に米国在留の資格、ビザの種類を聞かれるのは差別につながると思う。

(青柳事務局長)新 1 年生には第 1 次面接を土曜日各借用校において行い、学力についてより詳しい判定が必要な場合第 2 次面接を事務局で行うということ従来お願いしている。ご質問の件については面接時刻についてそちらの都合を尊重するよう対応してきたはずである。

(堀井学校長)面接を行う派遣教員は土曜日は学校業務のため現場で多忙であり、緊急事態が発生した場合の対応が難しくなる。今年度すでに小 SJ 校入学を希望する複数の児童について事務局に来ていただき面接を行っているの、今一人に特例を認めるのは好ましくない。しかし、来年度からに関しては、平日に SJ 方面で面接会場を設定し第 2 次面接を行うことは可能であり、理事会、事務局に対応をお願いしたい。

(長岡第一副理事長)理事会でも検討をしているところである。また、ビザの種類を聞く件は、文部科学省に児童・生徒のビザの種類を提出を求められているので行っている。

#### 堀井学校長帰国の挨拶

3 年間の任期を終えて今月日本にご帰国予定の堀井学校長より、3 年間の各方面からのご協力に対し謝意が述べられ、離任のご挨拶がありました。また、生田目中高部 SJ 校教頭は体調不調のため日本に帰任する旨、報告されました。

\*\*\*\*\*

### 事務局よりお知らせ

#### 平成 17 年度入学式・始業式 (4/9) について

<小学部>

○サンフランシスコ校 (借用校: A. P. Giannini Middle School)  
始業式 8:55~9:10 入学式 10:10~11:00

○サンノゼ校 (借用校: Cupertino Middle School)  
始業式 8:55~9:10 入学式 10:10~10:55

<中学部・高等部>

始業式 (中学部・高等部とも) 8:40~8:50  
入学式 (中学部) 9:00~9:30 (高等部) 9:35~10:00

○サンフランシスコ校 (借用校: Herbert Hoover Middle School)

○サンノゼ校 (借用校: J. F. Kennedy Middle School)

#### 教科書配布について

小学部・中学部では、4 月 9 日の入学式・始業式当日に新しい教科書を配布します。海外子女教育振興財団からすでに

教科書を受け取っておられる方については、受理しないように児童・生徒にお伝えください。

なお、高等部の教科書については、各自の購入になります。「教科書購入について」(別途配布)のお知らせをご覧ください。

#### 補助教材・文房具の販売について

使用補助教材と文房具の出張販売を下記の日程で行います。下記日程以前の販売は紀伊国屋書店でも行っておりません。

<小学部>

○サンフランシスコ校 4/9 1階ロビー 9:00~16:00

○サンノゼ校 4/9 中庭 9:00~15:30

<中学部>

○サンフランシスコ校 4/9 1階ロビー 11:50~12:30

○サンノゼ校 4/9 パビリオン 昼休み

#### 3月・4月の主な行事予定

| 月 | 日  | 行事予定            |
|---|----|-----------------|
| 3 | 19 | 平成 16 年度卒業式、修了式 |
| 4 | 9  | 平成 17 年度入学式、始業式 |

#### 平成 17 年度の授業予定日 (計 47 日、下線は夏期集中学習)

|    |  |     |                  |
|----|--|-----|------------------|
| 4月 | 9, 16, 23, 30                                    | 10月 | 1, 8, 15, 22, 29 |
| 5月 | 7, 14, 21, 28                                    | 11月 | 5, 12, 19        |
| 6月 | 4, 11, 18, <u>21, 22, 23, 24, 25, 28, 29, 30</u> | 12月 | 3, 10, 17        |
| 7月 | <u>1, 2</u>                                      | 1月  | 7, 14, 21, 28    |
| 8月 | なし   | 2月  | 4, 11, 18, 25    |
| 9月 | 3, 10, 17, 24                                    | 3月  | 4, 11, 18        |

\*\*\*\*\*

### 在サンフランシスコ日本国総領事館よりお知らせ

#### 北加桜祭りにおける領事出張サービスの実施及び

#### 在外選挙人名簿登録申請受付のお知らせ

当館では北加桜祭りの開催期間中、当館管轄内に在留されている邦人の皆様のため、日本人町に於いて「第 1 回領事出張サービス」を実施します。当日はパスポートの切替、在外選挙登録申請、戸籍・証明の受付、日系人のビザ取得の相談など、各種領事サービスを行います。詳細については、事前に当館領事班にお問い合わせいただくか当館ホームページ (<http://www.cgjfsf.org>) で必要書類をご確認ください。

なお、お子様のパスポート申請をなさる方については、交付時にはお子様のご来場が必要となりますが、申請時にはお子様はお越しいただく必要がありませんので、是非ご利用ください。

◎日時:

第1日目: 平成 17 (2005) 年 4 月 16 日 (土) 11:00~15:00

第2日目: 平成 17 (2005) 年 4 月 23 日 (土) 11:00~15:00

◎会場: Radisson Miyako Hotel

1625 Post St., San Francisco, CA 94115

◆不明な点につきましては、事前に総領事館領事班までお問い合わせ下さい。

Consulate-General of Japan

50 Fremont St., Suite 2300, San Francisco, CA94105

電話: (415)777-3533

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月 1 回発行されます。

発行人: 山崎啓二

San Francisco Japanese Language Class, Inc.,

760 Market Street, #816,

San Francisco, CA 94102

電話: 415-989-4535 FAX: 415-989-2542

理事会・事務局 office@sfjlc.com, 学校 sfjlc@msn.com,

ホームページ: <http://sfjlc.com>

理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問合せ等には一切お答えしかねます。

無断複製・転載を禁じます。

©2005 All rights reserved.